TOSHIBA

販売店・工事店さま用

東芝レンジフードファン取付説明書

形名 **VFR-64LJPA タイプ, VFR-74LJPA タイプ, VFR-94LJPA タイプ**

- このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客さまで保管いただくように依頼してください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくは、カタログをご覧ください。）
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しています。
  次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表　示	表示の意味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容” を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容” を示します。

＊1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
● 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

⚠警告

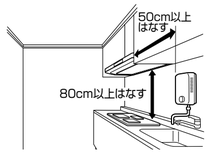
改造禁止	**改造はしない** 火災・感電・けがの原因になります。	給気を確実に	**煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分大きな空気取入口を別につける** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
分解・修理禁止	**修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。	確実に差し込む	**電源プラグは根元まで確実に差し込む** 火災・感電の原因になります。
アースを接続する	**アースは、確実に取り付ける** 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。	使用禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない** 火災・感電の原因になります。
接触禁止	**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける** 漏電したとき、火災・感電の原因になります。	使用禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、束ねたりしない電線に荷重をかけない** 火災・感電の原因になります。
取付禁止	**内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。	電源プラグに力をかけない	**電源コードはゆとりを持たせ、電源プラグに力がかからないようにする** **また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する** 火災・感電の原因になります。
交流100V使用	**電源は交流100Vを使う** 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。	ポリ袋破棄	**包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する** 頭からかぶるなどすると、口や、鼻をふさぎ窒息する原因になります。

⚠注意

確実に取り付ける	**前板、フィルターや部品は確実に取り付ける** 落下により、けがの原因になります。	使用禁止	**浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない** 感電および故障の原因になります。
確実に取り付ける	**強度のある場所に、確実に取り付ける** 落下により、けがの原因になります。	接触禁止	**運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない** けがの原因になります。
電気工事士が実施	**電気工事・アース工事は、電気工事士（※）が行う** 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。	手袋着用	**取り付けのときは、手袋を着用する** 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
		使用禁止	**指定以外のランプを使わない** ランプカバー周辺が高温になり、やけどの原因になります。 また、火災・感電の原因になります。

お願い

ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80 cm以上必要です。



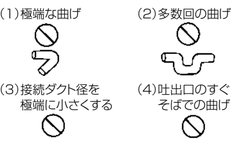
湯沸器は、50cm以上横に離して取り付けてください。
50cm以下ですと、高温により故障の原因になります。

取付工事は地域により、防災上での制限があります。
関連法規に従って施工してください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。

取付工事は手袋をして行ってください。

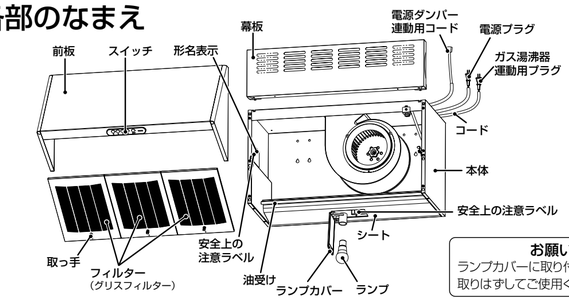
周囲温度が 40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。

全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。
次のようなダクト工事はしないでください。



効率よく排気させるため空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

各部のなまえ



お願い
ランプカバーに取り付けのシートは取りはずしてご使用ください。

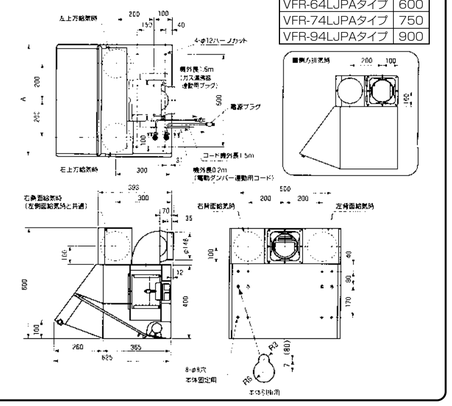
付属品

木ねじ(6本)	ねじ(6本)	ソフトテープ(3本)	側板	蝶ナット(2個)	蝶ボルト(2個)	ねじ(4本)
本体固定用	電動機密シャッター固定用	排気口、給気口とダクトおよび排気口と側板とのすき間ふさぎ用	側板排気用	給気口固定用	給気ボックス固定用	給気口固定用

製品寸法図

単位：mm

形　名	A寸法
VFR-64LJPAタイプ	600
VFR-74LJPAタイプ	750
VFR-94LJPAタイプ	900

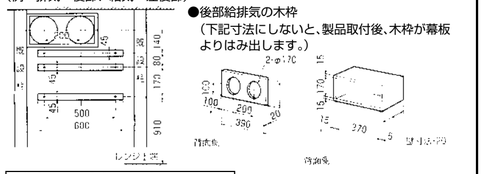


取付方法

取り付け前の準備

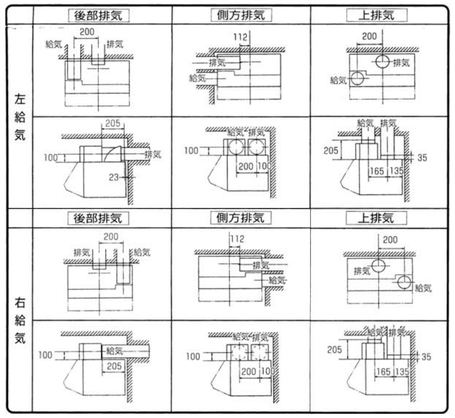
取付補強材の位置

下図に木枠を必要とする場合の位置関係を示します。
（例：排気：後部、給気：左後部）



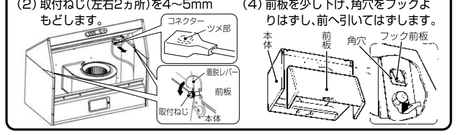
排気・給気方向の選択

排気、給気方向を下図より選びます。
ダクト(φ150スパイラルダクト)を下図の位置に配管します。



前板のはずし方

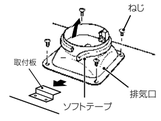
(1) コネクターをはずします。ツメ部を押しながら手前に引きはずします。
(2) 取付ねじ(左右2ヵ所)を4～5mmもどします。
(3) 着脱レバー(左右2ヵ所)を後方へ回します。
(4) 前板を少し下げ、角穴をフックよりはずし、前へ引いてはずします。



排気部品の準備

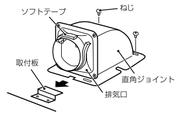
上排気の場合

(1) ねじ(4本)をはずし、排気口をはずし、付属のソフトテープを貼ります。
(2) 本体の取付板に、排気口を差し込み付属のねじ(2本)で固定します。



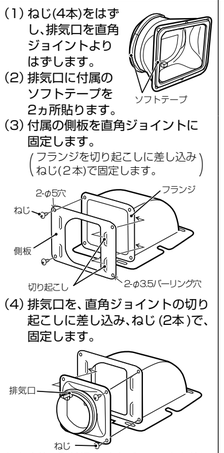
後部排気の場合

(1) 排気口に付属のソフトテープを貼ります。
(2) 本体の取付板に、直角ジョイントを差し込み付属のねじ(2本)で固定します。



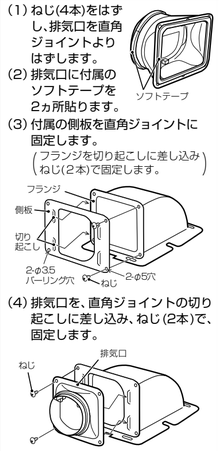
右側排気の場合

(1) ねじ(4本)をはずし、排気口を直角ジョイントよりはずします。
(2) 排気口に付属のソフトテープを2ヵ所貼ります。
(3) 付属の側板を直角ジョイントに固定します。
（フランジを切り起こしに差し込みねじ(2本)で固定します。）
(4) 排気口を、直角ジョイントの切り起こしに差し込み、ねじ(2本)で、固定します。
(5) 本体の取付板に、直角ジョイントを差し込み付属のねじ(2本)で固定します。



左側排気の場合

(1) ねじ(4本)をはずし、排気口を直角ジョイントよりはずします。
(2) 排気口に付属のソフトテープを2ヵ所貼ります。
(3) 付属の側板を直角ジョイントに固定します。
（フランジを切り起こしに差し込みねじ(2本)で固定します。）
(4) 排気口を、直角ジョイントの切り起こしに差し込み、ねじ(2本)で、固定します。
(5) 本体の取付板に、直角ジョイントを差し込み付属のねじ(2本)で固定します。

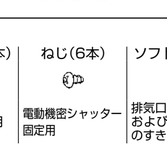


本体の取り付け方

取り付けの前に取り付け部の強度をお確かめください。取り付け部が弱いと落下、振動、騒音の原因になります。

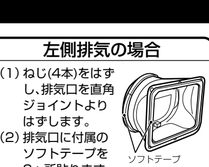
壁取り付けの場合

(1) 製品寸法図を参照して、壁面に付属の木ねじ(2本)を図のように8mm締め付けを残して仮止めします。
(2) 本体を木ねじに引掛けます。
(3) 本体内側より付属の木ねじ(4本)で締め付け固定します。



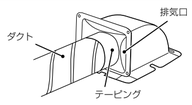
天井取り付けの場合（給・排気方向により取付できない場合があります。）

(1) 製品寸法図を参照して、天井にアンカーボルト(M10)を埋め込みます。
(2) 本体の天吊り用穴(2ヵ所)のノックアウト部を打ち抜きます。
(3) 市販のナット(M10)とワッシャー(M10用)にて、本体をアンカーボルトに固定します。
(4) 本体内側より付属の木ねじ(2本)を締め付け壁に本体を固定します。



ダクト(パイプ)の取り付け方

排気口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングします。

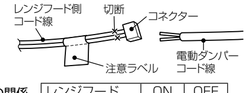


アースおよび電源の接続

(1) 本体天井面のアース端子を使用してアース工事します。
(2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電動ダンパーと連動する場合

(1) 電動ダンパー(φ150用)の説明書に従い、排気ダクト、または給気ダクトに電動ダンパーを取り付けます。
(2) レンジフード本体から出ている電動ダンパー連動用コード線のコネクター首下部を切断して電動ダンパーのコード線と接続します。

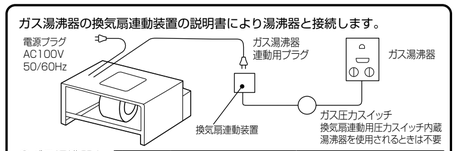


●電動ダンパーとレンジフードの関係

レンジフード	ON	OFF
電動ダンパー	ON	OFF
排気または給気	有	無

ガス湯沸器と連動する場合

ガス湯沸器の換気扇連動装置の説明書により湯沸器と接続します。

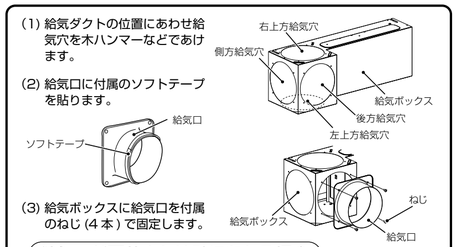


●ガス湯沸器とレンジフードの関係

ガス湯沸器	使用時	未使用時
組み合わせるとき	レンジフードのスイッチ操作に関係なく「強」で運転	レンジフードのスイッチ操作に連動し、「強」「中」「弱」「切」が可能
組み合わせないとき	レンジフードのスイッチ操作に連動し、「強」「中」「弱」「切」が可能	

給気ボックスの取り付け方

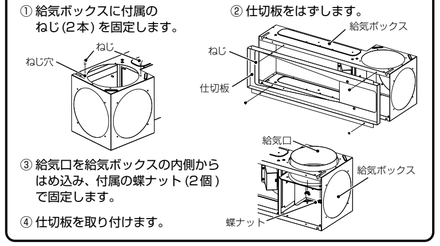
(1) 給気ダクトの位置にあわせ給気穴を木ハンマーなどであけます。
(2) 給気口に付属のソフトテープを貼ります。
(3) 給気ボックスに給気口を付属のねじ(4本)で固定します。



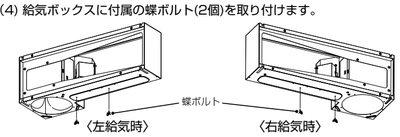
給気口が天井または壁にあたる場合

下記の手順により、給気口を給気ボックスの内側から取り付けてください。

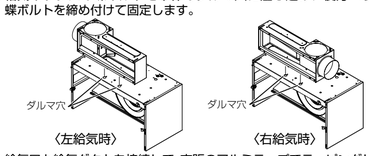
① 給気ボックスに付属のねじ(2本)を固定します。
② 仕切板をはずします。
③ 給気口を給気ボックスの内側からはめ込み、付属の蝶ナット(2個)で固定します。
④ 仕切板を取り付けます。



(4) 給気ボックスに付属の蝶ボルト(2個)を取り付けます。



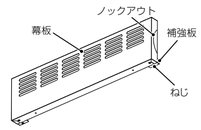
(5) 給気ボックスの蝶ボルトを本体のダルマ穴に差し込み、後方へずらし、蝶ボルトを締め付けて固定します。



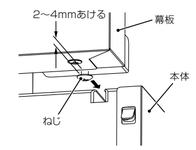
(6) 給気口と給気ダクトを接続して、市販のアルミテープでテーピングします。

幕板の取り付け方

(1) 側方給気の場合は幕板側面のノックアウトを取り除きます。



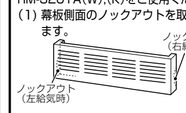
(2) 幕板の補強板に固定しているねじ(2本)を2～4mmもどします。
(3) 幕板を本体前面より差し込みます。
(4) 本体下部よりドライバーでねじを締めて固定します。



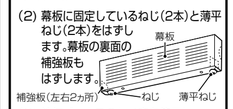
側方給排気にて、木枠が後部給排気用の場合

ご注意
横幕板を使用する場合は専用のRM-S20YA(W),(K)をご使用ください。

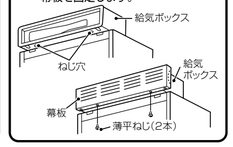
(1) 幕板側面のノックアウトを取り除きます。



(2) 幕板に固定しているねじ(2本)と薄平ねじ(2本)をはずします。幕板の裏面の補強板もはずします。

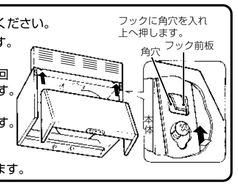


(3) 給気ボックスのねじ穴を使用し、(2)項ではずした薄平ねじ(2本)で幕板を固定します。

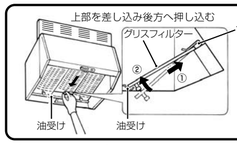


前板の取り付け方

前板のはずし方と逆の順序で行ってください。
(1) 前板の上部を本体へ差し込みます。
(2) 前板を、前へ押し固定します。
(3) 着脱レバー(左右2ヵ所)を前方に回し、取付ねじを確実に溝に入れます。
(4) 取付ねじ(左右2ヵ所)をドライバーで締め付けて固定します。
(5) コネクターを取り付けます。
(6) 手元へ、軽く引っ張り、前板が確実に固定されているか確かめます。



グリスフィルターの取り付け方



製品幅でのグリスフィルターの枚数	
600mm	750, 900mm

試運転

以上で取り付け完了です。
次の点検を行い、異常がないか確認してください。
- 製品の取付強度が十分なこと
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと
- シャッターの開閉が正常なこと